

市民・事業者に対するアンケート調査結果

1 調査概要

(1) 目的

京都市環境基本計画の改定に当たり、本市の環境保全に関する課題やニーズ等を把握し、検討のための基礎資料とする。

(2) 実施期間

平成27年3月9日（月）から2週間

(3) 調査対象

ア 市民

京都市内在住の市民（15歳以上）

イ 事業者

京都市内の事業所・団体（京都商工会議所会員）

(4) 調査方法

ア 市民

インターネット・モニター調査

京都市統計情報「住民基本台帳の年齢別人口」に基づき性別・年代別に回答者数の割付を行い、委託業者が保有するモニター（京都市在住（15歳以上）の約3,500人）に対しメールにより調査への協力を依頼し、調査専用WEBサイトにログインし回答いただいた。

イ 事業者

インターネット・ホスティング調査

平成24年経済センサスの集計「事業所数」に基づき、産業大分類別の業種ごとに割付を行い、業種別に50音順の名簿上位から抽出した500事業者に対して、郵送案内により調査を依頼し、調査専用WEBサイトにログインし回答いただいた。

(5) 回収結果

ア 市民

1,202人からの回答を得た。性年代別の回収結果は下表のとおり。

表1 性年代別回収結果

	総数	男性	女性
15～19歳	72	28	44
20～29歳	206	105	101
30～39歳	228	112	116
40～49歳	258	127	131
50～59歳	199	97	102
60歳～	239	113	126
合計	1,202	582	620

イ 事業者

90 事業所からの回答を得た。産業大分類の回収数及び回収率は下表のとおり。

表 2 産業大分類別回収結果

産業大分類	サンプル数	回収数	回収率(%)
A～C 農林漁業 鉱業, 採石業, 砂利採取業	2	0	0.0
D 建設業	31	8	25.8
E 製造業	58	12	20.7
F 電気・ガス・熱供給・水道業	2	2	100.0
G 情報通信業	6	1	16.7
H 運輸業, 郵便業	9	3	33.3
I 卸売業, 小売業	135	13	9.6
J 金融業, 保険業	7	3	42.9
K 不動産業, 物品賃貸業	41	8	19.5
L 学術研究, 専門・技術サービス業	20	0	0.0
M 宿泊業, 飲食サービス業	73	6	8.2
N 生活関連サービス業, 娯楽業	37	2	5.4
O 教育, 学習支援業	14	3	21.4
P 医療, 福祉	31	12	38.7
Q 複合サービス事業	—	1	—
R サービス業(他に分類されないもの)	34	11	32.4
その他	—	5	—
合計(全産業(公務を除く))	500	90	18.0

2 調査結果

(1) 市民アンケート調査結果

Q1 あなたの性別をお答えください。

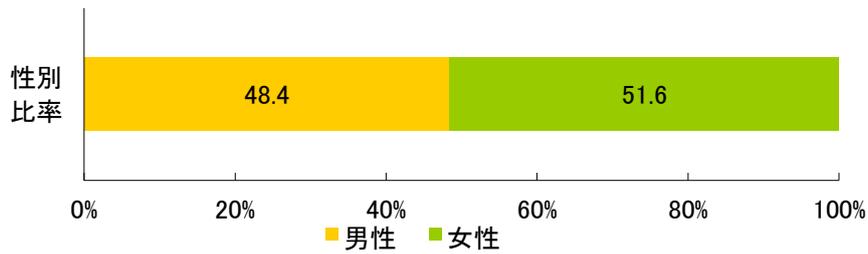


図1 性別

Q2 あなたの年齢をお答えください。

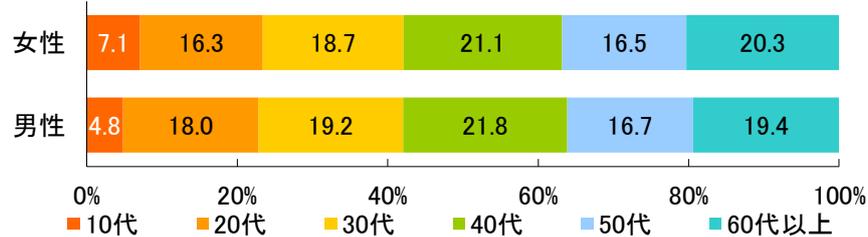


図2 性年代

Q3 あなたがお住まいの区をお答えください。

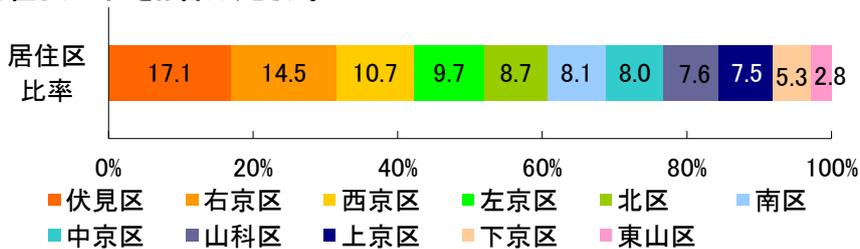


図3 居住区

Q4 あなたは京都市に何年お住まいですか。

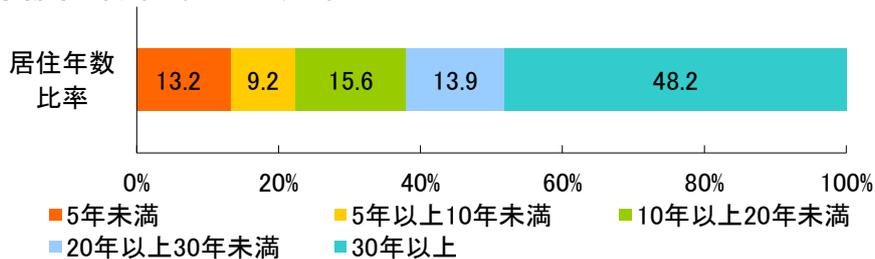


図4 居住年数

Q5 あなたのお住まいの周辺の土地利用はどのような状況ですか。

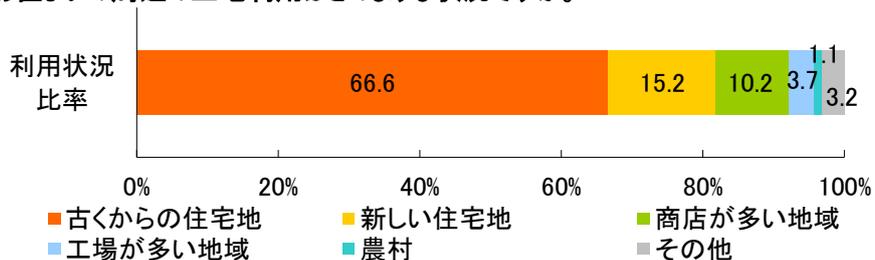


図5 周辺土地利用

**Q6 あなたはどのような環境問題や課題に関心をお持ちですか。次にあげる項目の中から、あなたの関心のあ
る環境問題を5つまでお選びください。**

- ・環境問題への関心がある項目の上位3つは「黄砂やPM2.5などの越境大気汚染」38.7%、「森や林などの緑や、自然の風景の減少」32.3%、「天然資源使用を減らす為の資源物の再利用・リサイクル」27.2%となっている。

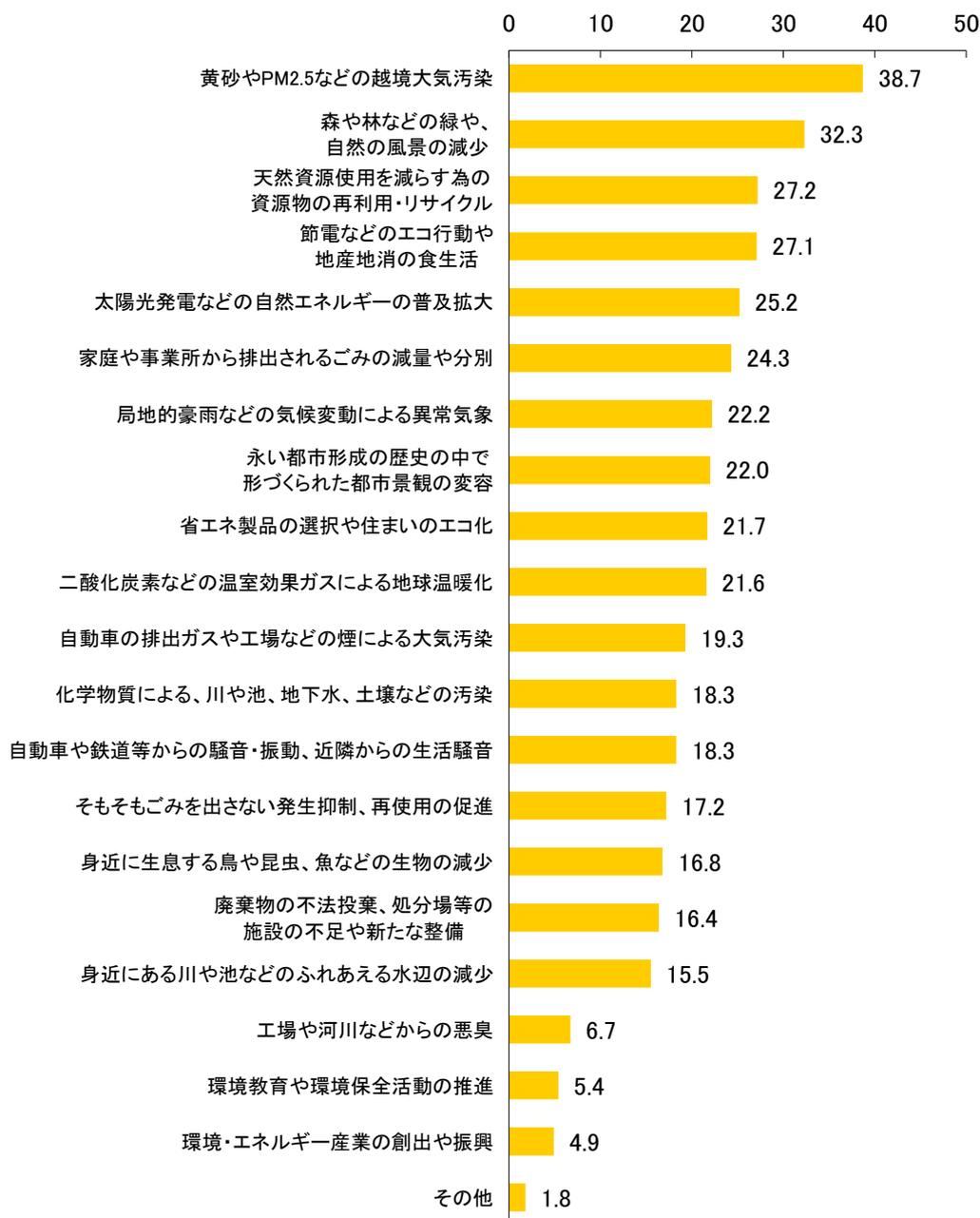


図6 環境問題への関心

その他の回答としては以下のような回答があった。

- ・近隣の原発再稼働
- ・放射性廃棄物の処理

Q7 京都市では、環境負荷の少ない持続可能なまちを目指して、次の5つの長期的目標に沿って様々な取組を実施していますが、現在の状況についてどう思いますか。

- ・「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の割合の合計でみると、長期的目標3の「伝統行事や文化財等の歴史的文化的環境が保全されている」69.2%と最も高く、「そう思う」の割合でみると「伝統行事や文化財等の歴史的文化的環境が保全されている」21.1%、「伝統的な町並みや都市景観が保全されている」14.1%、「身近に緑と触れ合うことのできる場所がある」10.7%が高くなっている。

長期的目標1 国際的連携と地域的取組により脱温暖化社会を目指すまち・京都

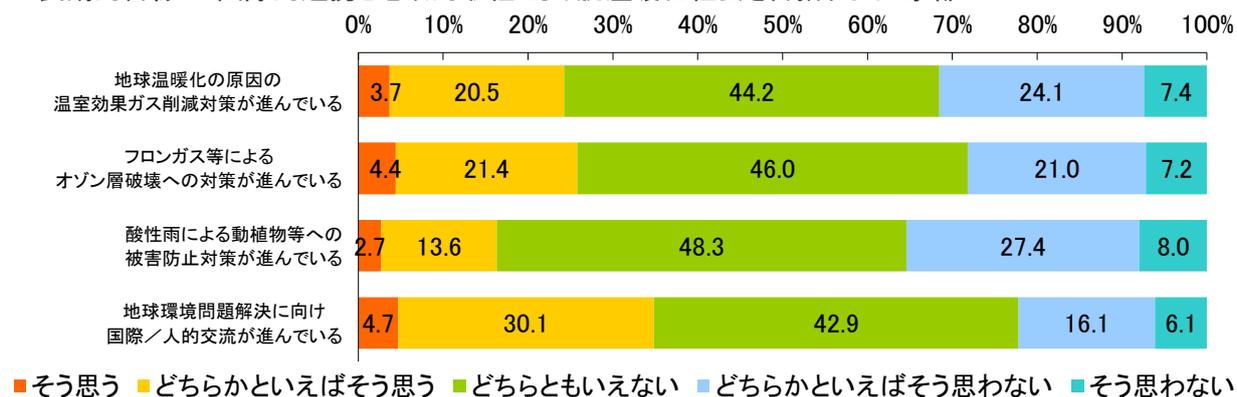


図7 取組等の評価(長期的目標1)

長期的目標2 公害のない健康で安全な環境が保たれるまち・京都

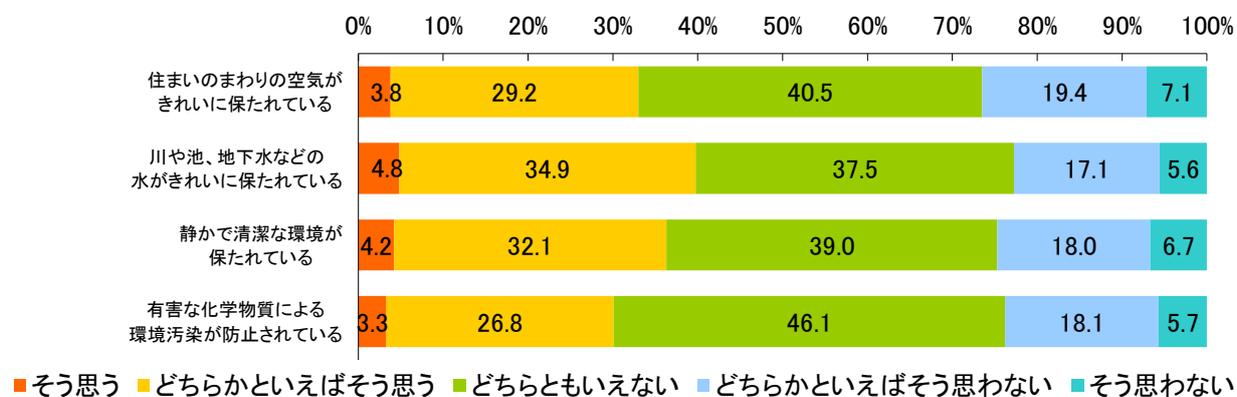


図8 取組等の評価(長期的目標2)

長期的目標3 自然と共生し、うらおいと安らぎのあるまち・京都

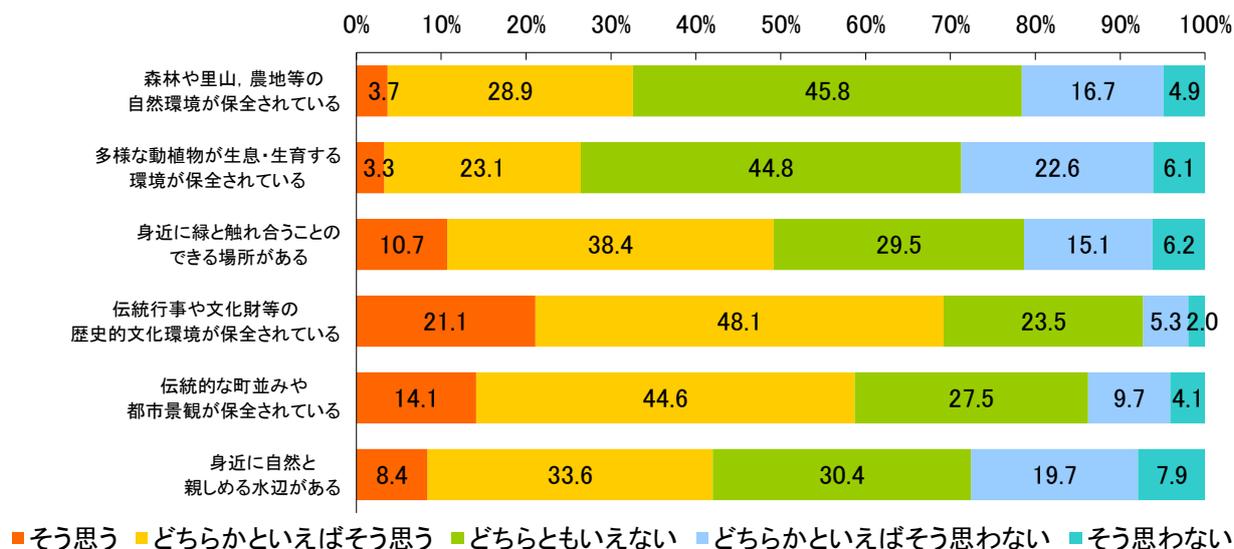


図9 取組等の評価(長期的目標3)

長期的目標4 ごみの減量化を進め、資源を循環的に利用するまち・京都

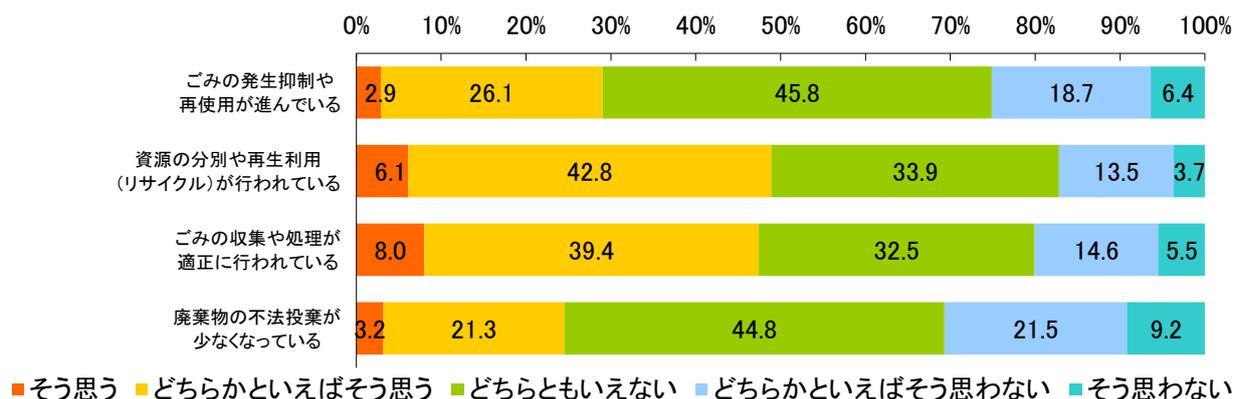


図10 取組等の評価(長期的目標4)

長期的目標5 すべての主体の知恵と工夫と行動で環境を支えるまち・京都

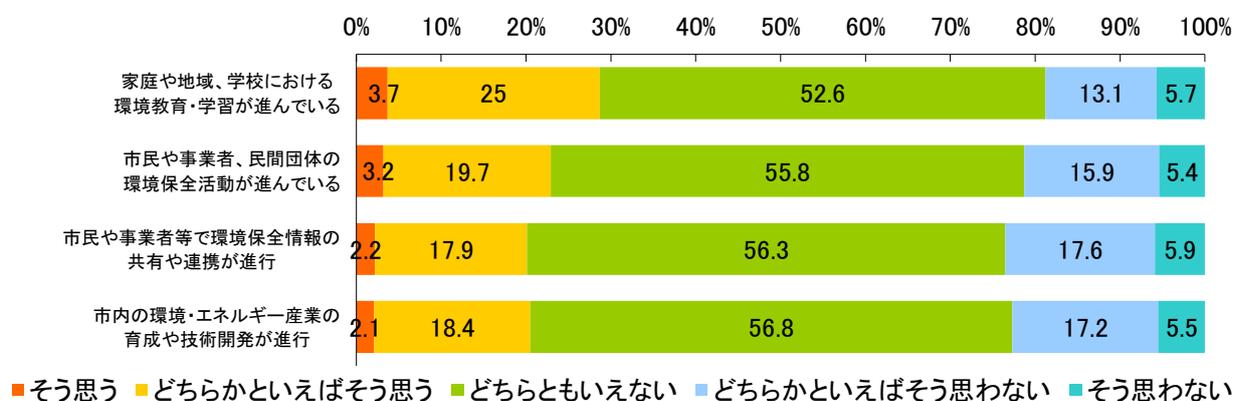


図11 取組等の評価(長期的目標5)

Q8 あなたは、次のような活動に取り組んでいますか。

- ・「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の割合の合計でみると、「マイバッグの持参」81.3%、「節電などの省エネ活動」79.7%、「紙ごみなどの資源ごみの分別」79.1%が高く、「そう思う」の割合でみると「マイバッグの持参」49.5%、「紙ごみなどの資源ごみの分別」48.5%が5割近くになっている。

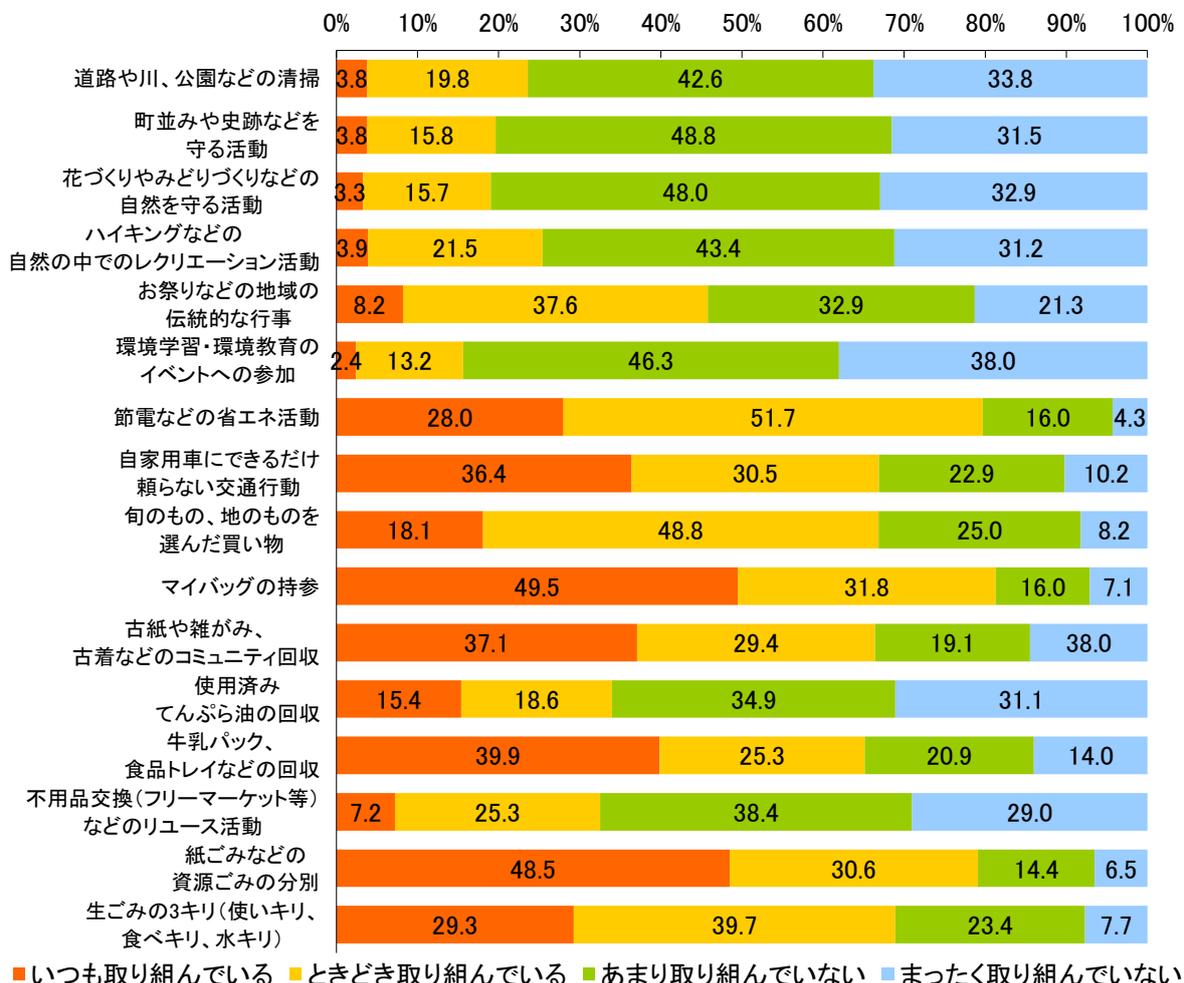


図 12 活動への取組状況

Q9 環境に配慮した行動に取り組んでいない理由は何ですか。

- ・環境に配慮した行動に取り組んでいない理由として最も多かったのは、「取り組む機会がないため」56.3%で、次いで、「取り組むための時間がないため」33.6%、「どのように取り組めばよいか、わからないため」31.1%となっている。

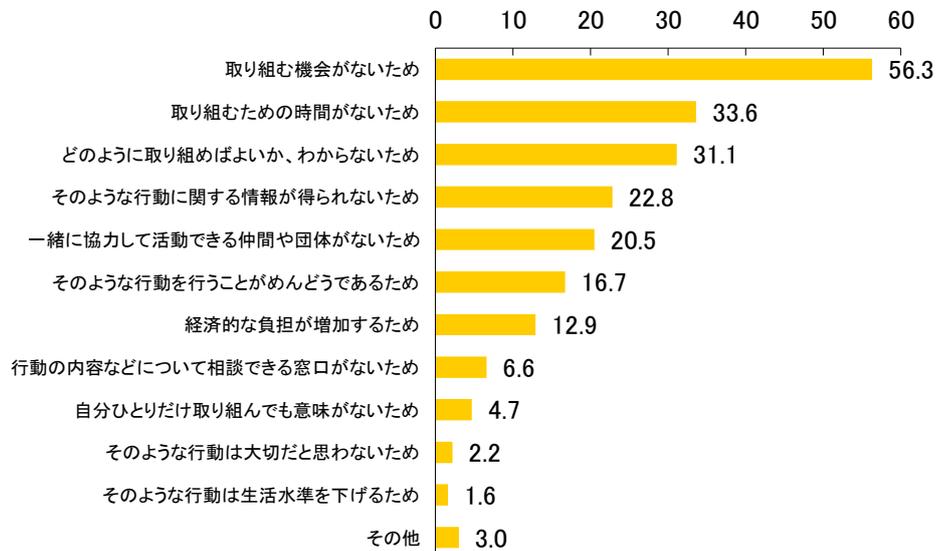


図 13 活動しない理由

その他の回答としては以下のような回答があった。

- ・健康上の理由
- ・賛同できるような活動がないため

Q10 あなたは環境についての情報や知識を、どこで知ったり学習したりしていますか。また、環境についての情報や知識をより多くの方に知ってもらうために、どのような場所、どのような手段を用いたらよいと思いますか。

- ・知識を得ている情報源では、「市民しんぶん」などの市の広報や案内」58.2%が最も高く、唯一5割を超えていた。次いで、「テレビやラジオ」33.4%、「インターネットや携帯電話のサイト」27.3%となっている。
- ・多くの人へ発信するために有効だと思う情報源では、「テレビやラジオ」54.7%、「市民しんぶん」などの市の広報や案内」50.8%が5割を超えている。

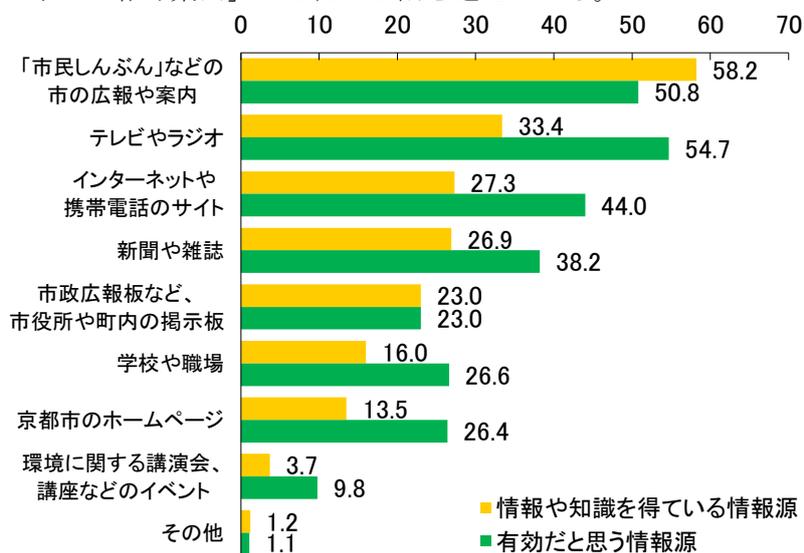


図 14 環境についての情報や知識

情報や知識を得ている情報源、有効だと思う情報源のその他の回答としては以下のような回答があった。

表 3 情報や知識を得ている情報源、有効だと思う情報源のその他の回答

情報や知識を得ている情報源	有効だと思う情報源
<ul style="list-style-type: none"> ・親族等 ・地域の団体等 ・海外の情報 	<ul style="list-style-type: none"> ・Twitter などの SNS ・バス・地下鉄の広告 ・バス停や駅の待合場所

Q11 あなたは、現在の京都市の環境に対して、どのようなイメージをお持ちですか。また、将来どのようなまちになってほしいとお考えですか。

- ・現在の京都市のイメージとしては、「伝統・文化が大切にされ、それらにふれあえるまち」70.5%が最も高く、次いで「美しい景色、景観がみられるまち」46.2%が高くなっている。
- ・将来なっしてほしい京都市のイメージとしては、上から「伝統・文化が大切にされ、それらにふれあえるまち」62.0%、「美しい景色や景観が見られるまち」60.6%、「ごみが落ちていないきれいで清潔なまち」51.4%と景観を重視する項目が上位となっている。

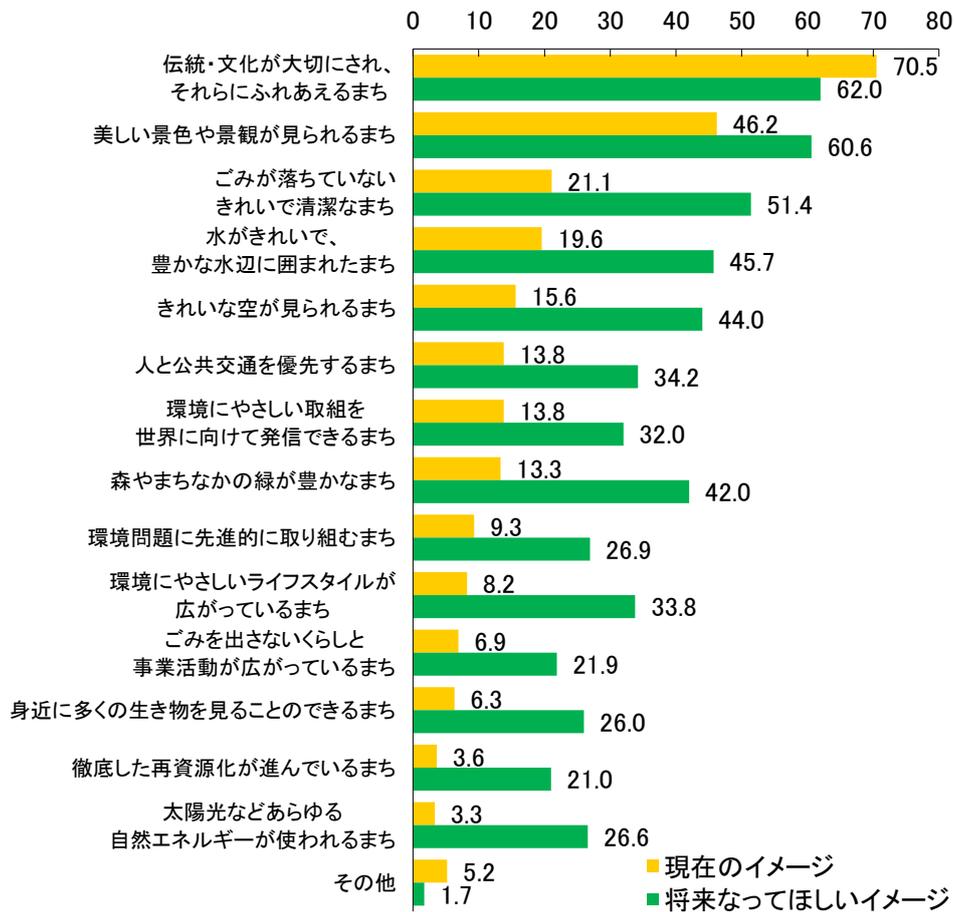


図 15 京都市のイメージ

- ・将来なっしてほしい京都市のイメージと現在の京都市のイメージとの差を見ると、「ごみが落ちていないきれいで清潔なまち」が 30.3 ポイント差となっており、次いで「森やまちなかの緑が豊かなまち」が 28.7 ポイント差、「きれいな空が見られるまち」28.4 ポイント差、「水がきれいで、豊かな水辺に囲まれたまち」26.1 ポイント差となっている。

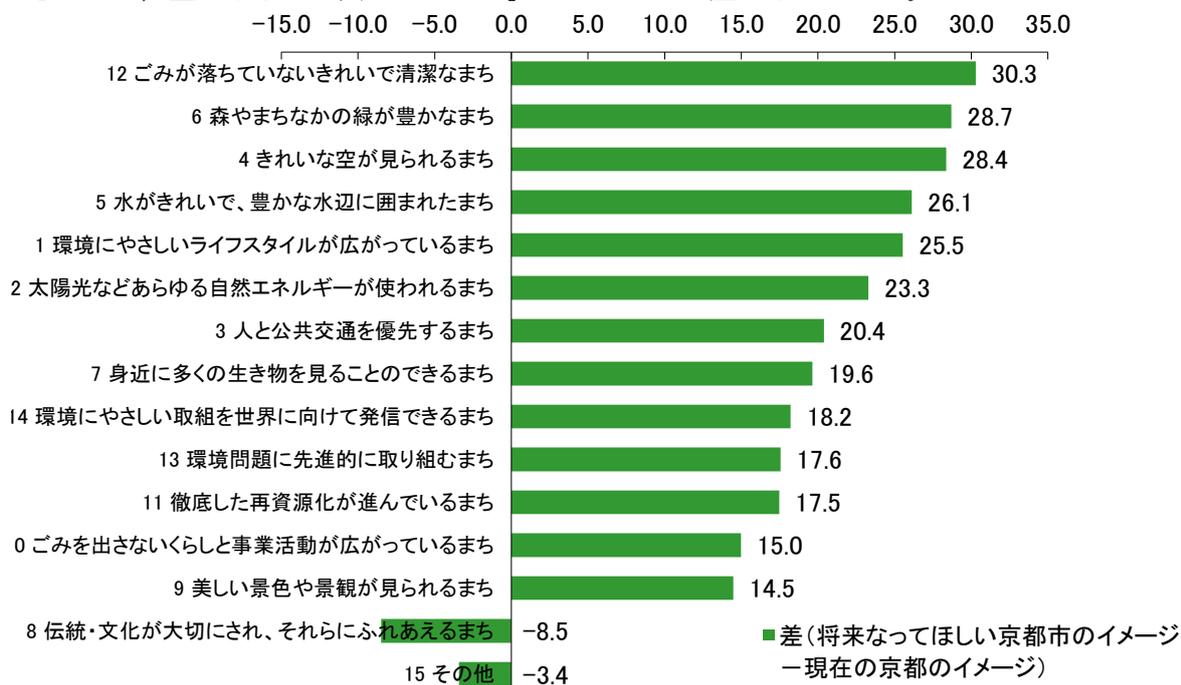


図 16 京都市のイメージ: 差 (将来なっほしい京都市のイメージ - 現在の京都のイメージ)

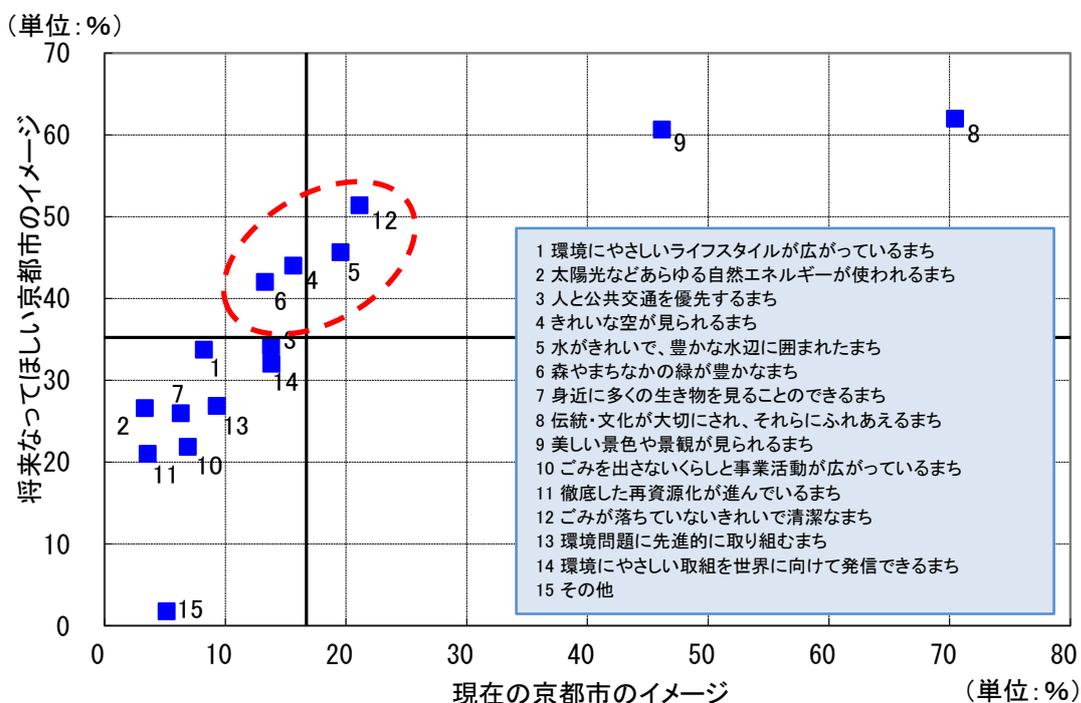


図 17 将来なっほしい京都市のイメージ - 現在の京都のイメージ

現在の京都市のイメージ、将来なっしてほしい京都市のイメージのその他の回答としては以下のような回答があった。

表 4 現在の京都市のイメージ、将来なっほしい京都市のイメージのその他の回答

現在の京都市のイメージ	将来なっほしい京都市のイメージ
<ul style="list-style-type: none"> ・観光地はごみが多く、渋滞がひどいまち ・公共交通機関が不便なまち ・環境保全が遅れたまち ・観光客が優先されるまち ・新しいことに適応しにくいまち ・市民が胸を張って大好きといえるまち ・あまりきれいでないまち ・ビルが少なくほっとするまち ・景観重視で商業に向かないまち ・住みにくくなりつつあるまち ・地域差が大きいまち ・他都市よりも建設基準が厳格なまち ・過剰なごみ分別に取り組むまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史に頼らない経済活動の活発化 ・一步進んだ環境で国内外の観光客に誇れるまち ・人が自然に環境保全に取り組めるまち ・商業の盛んなまち ・住んでいる人に優しいまち ・京町家など、日当たりの良い家並みが連なるまち ・市民一人ひとりが率先して環境保護を意識するまち ・多様な市民がのびのびしているまち ・住みやすいまち

Q12 環境問題や行政が取り組む環境保全施策について、ご意見、ご希望などございましたら、ご自由にお書きください。

以下のような回答があった。

表 5 長期的目標別の意見等

長期的目標	意見等
1 国際的連携と地域的取組により脱温暖化社会を目指すまち・京都	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関の整備を進め、利便性を高めてほしい ・市電を復活させてほしい ・自家用車等の市内乗り入れ規制を実施してほしい ・観光シーズンは他府県の車が乗り入れないようにしてほしい ・観光地への車の乗り入れ規制を実施してほしい ・パークアンドライドを推進すべき ・安く利用できる駐輪場を整備してほしい ・自然エネルギーのさらなる普及・促進 ・原発に頼らない地産地消のエネルギー政策をもっと推進すべき ・新エネルギーの発明やエネルギー供給システムの開発に官民そろって取り組んでほしい ・DO YOU KYOTO?を押し出したほうが良いのではないか
2 公害のない健康で安全な環境が保たれるまち・京都	<ul style="list-style-type: none"> ・人々が安心して暮らせる住み良いまちになってほしい ・数年前の水害以降、川に土砂が流れ込み川の様子が一変してしまったが以前の川に戻ってほしい ・騒音対策にきちんと取り組んでほしい

長期的目標	意見等
<p>3 自然と共生し、 うるおいと安らぎの あるまち・京都</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康的で美しい街づくりを進めてほしい ・京都の街並みがきれいになるよう有効にお金を使ってほしい ・自然豊かで人の心も豊かなまち作りを期待している ・景観保全に力をいれてほしい ・京都の古い建物，景観をこれ以上壊さないでほしい ・景観条例はやりすぎである ・一部の地域だけでなく，建物の外観規制をもっと推進すべき ・電線の地中化を推進してほしい ・子ども達が無理をしないで自然な環境に触れられるようにしてほしい ・もっと自然を増やしてほしい ・街中にある自然は保護するとともに，きちんと管理してほしい ・芝生などの自然がある中規模程度の公園を整備してほしい ・文化財を守る活動をさらに積極的に行ってほしい
<p>4 ごみの減量化を 進め，資源を循環的 に利用するまち・京 都</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3Rを積極的に推進していく必要がある ・ごみの分別・回収を強化してほしい ・市で古紙回収を行ってほしい ・ごみ回収の民営化を希望する ・リサイクルできるごみの回収頻度を増やしてほしい ・資源ごみ等の分別がお年寄りや転居者にはわかりにくい ・有料ごみ袋の値段を下げてほしい ・ごみの処分をもっと安価で簡単にできるようにしてほしい ・大きな祭だけでなく，小さな祭の際にもごみ箱を増やしてほしい ・天ぶら油などの回収は休日もやってほしい ・雑がみ回収は，自治会によって取り組まれていない場合があり，また，回収業者も持って行ってくれない業者があるなど，実行に移すまでのハードルが高い ・企業・事業者から蛍光管を回収してほしい ・ごみの不法投棄や歩きタバコを厳罰化してほしい ・再利用できる製品以外は販売を認めない，あるいは処分に関しても大手企業は責任を持つ（課税など）など生産者側から改善する必要がある
<p>5 すべての主体の 知恵と工夫と行動で 環境を支えるまち・ 京都</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境教育に力を入れてほしい ・学校で環境保全活動を推進してほしい ・学校の修学旅行や遠足に環境保全関連のボランティア活動を組み入れてはどうか ・市民しんぶんでの啓蒙活動を続けてほしい ・情報を得ようとした人にしか取組が伝わっていないのもっと誰もが目にする機会を増やすべき ・家庭で簡単にできる環境保全に関する情報を提供してほしい ・市民の経済的負担が少ない形で行えるような政策を期待している ・市民一人ひとりの環境に対する意識が高くなるような方策を実行してほしい ・環境に関する地域レベルの学習会を開催してほしい

長期的目標	意見等
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のコミュニケーションも上手く図れるようなイベントを開催してほしい ・自治会代表参加の講演会等を開催し、町内会に持ち帰ってもらい、普及してもらってはどうか ・行政が先頭に立って、民間企業が協力できる環境を作してほしい ・環境問題についての取組等の状況を市民に十分に説明してほしい ・インターネットや SNS, 携帯サイト, テレビなども使ってもっと情報提供してほしい
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・最新の科学的知見に基づいた施策をとってほしい ・観光と環境の両立を目指してほしい ・わかりやすい補助金制度を作してほしい

Q13 あなたのご職業をお答えください。

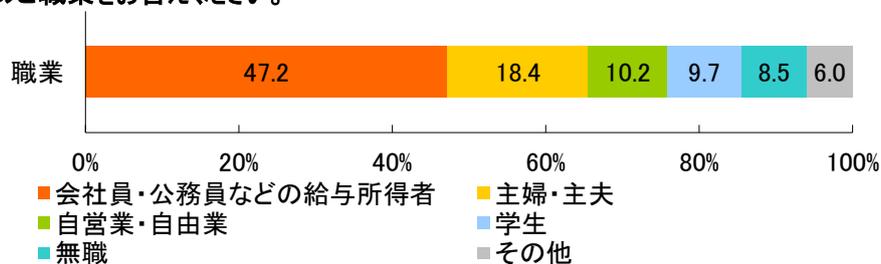


図 18 職業

Q14 あなたは今、何人でお住まいですか。

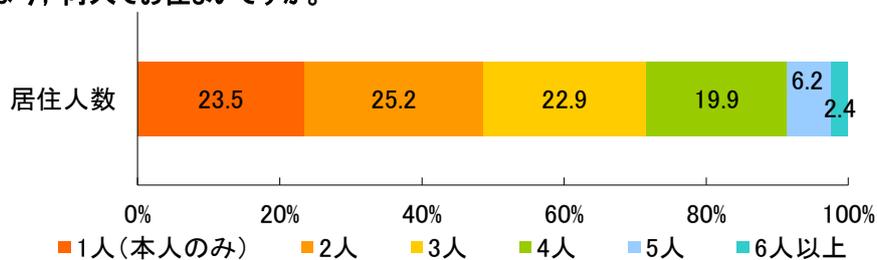


図 19 居住人員数

(2) 事業者アンケート調査結果

Q1 貴事業所の業種は次のどれにあたりますか。

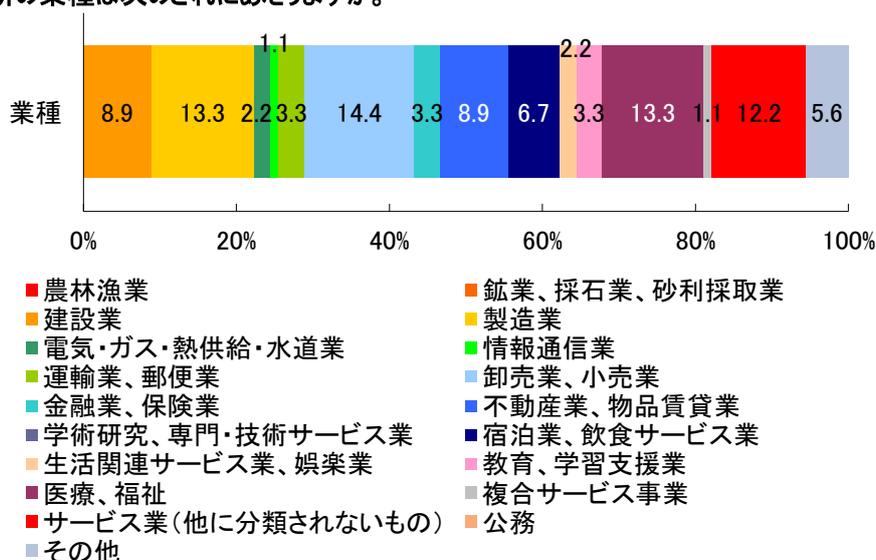


図 20 業種

Q2 貴事業所の事業形態は、次のどれにあたりますか。

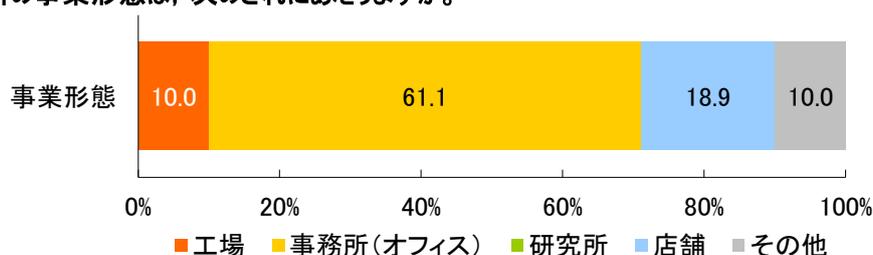


図 21 事業形態

Q3 貴事業所の従業員数は次のどれにあたりますか。

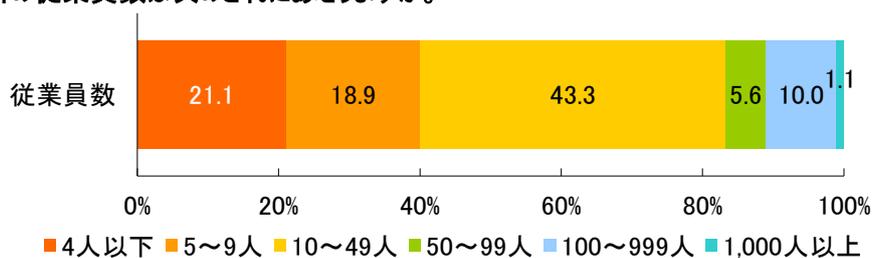


図 22 従業員規模

Q4 貴事業所はどちらの区にありますか。

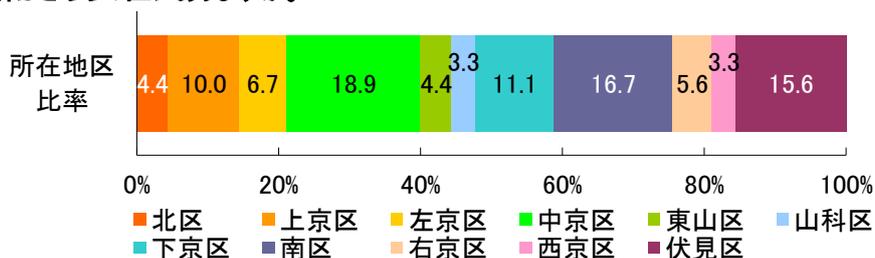


図 23 所在区

Q5 次にあげる環境保全の取組項目は、事業所の事務作業や諸活動、建物や設備の管理、備品などの購入や使用時などにおける環境に配慮した取組項目の例です。それぞれの項目について、貴事業所の取組状況や考えにあてはまるものをお答えください。

- ・「既の実施している」の割合が高い順に、「不必要な照明の電源を切るなどの省エネルギーの努力」87.8%、「廃棄物の発生抑制・分別の徹底」77.8%、「再生紙やリサイクル文房等環境配慮型製品の購入、使用」65.6%となっている。

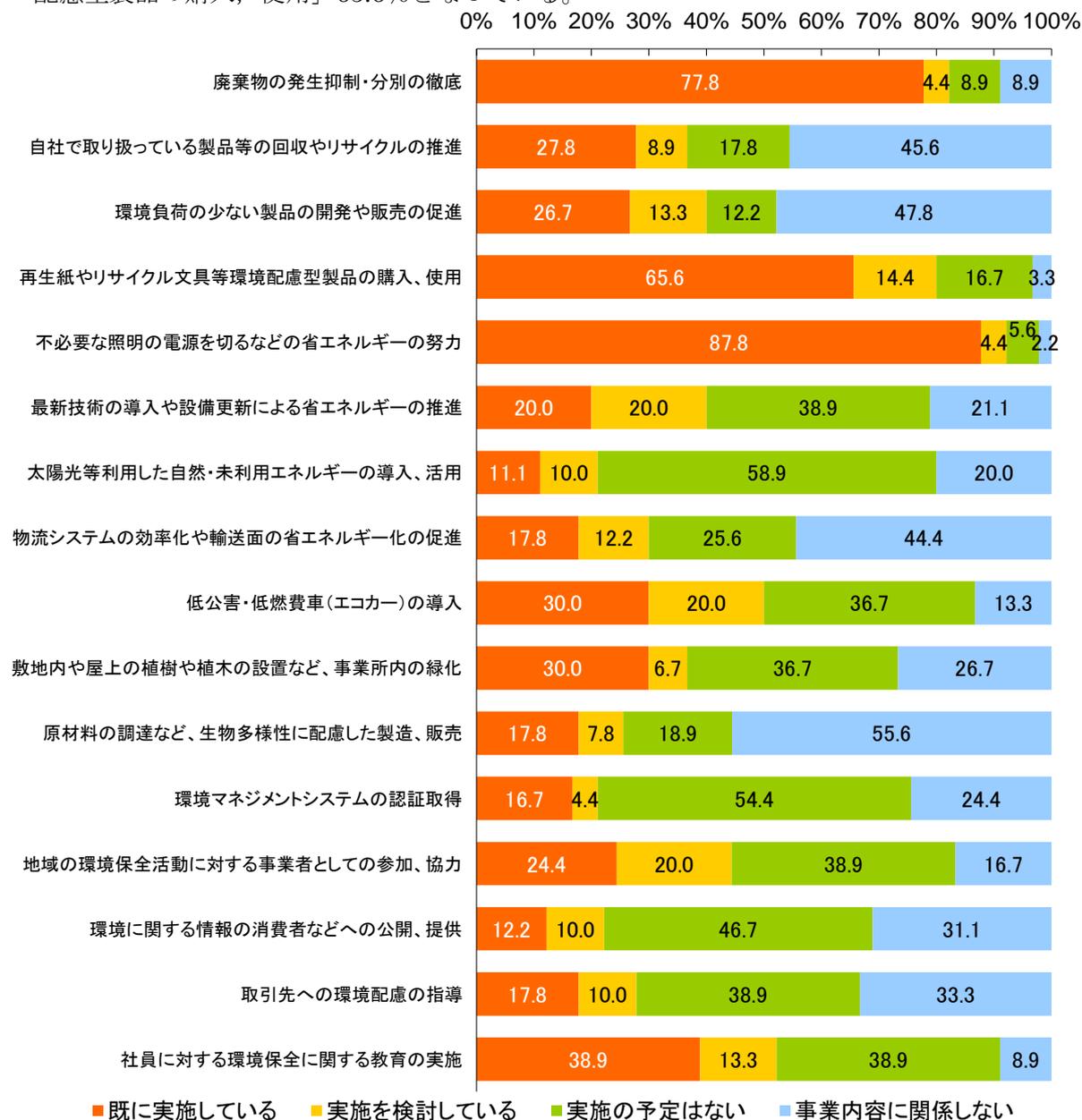


図 24 環境保全等の取組実施状況

Q6 前問にあげた環境保全の取組項目以外に、貴事業所において環境保全に向けた具体的な取組がありましたら、ご記入ください。

以下のような回答があった。

- ・J-クレジット制度の導入
- ・環境カウンセラーズ京都メンバーとしての活動
- ・ガソリン使用量の削減

Q7 事業者が環境保全に取り組むことについて、貴事業所の考えにあてはまるものをお答えください。

- ・事業者が環境保全に取り組むことについての考えとして、高いものから「環境保全の取組は、企業の社会的な責任から不可欠である」58.9%、「環境保全への取組は、コスト削減につながる」53.3%、「取組により、企業のイメージアップが期待できる」45.6%となっている。

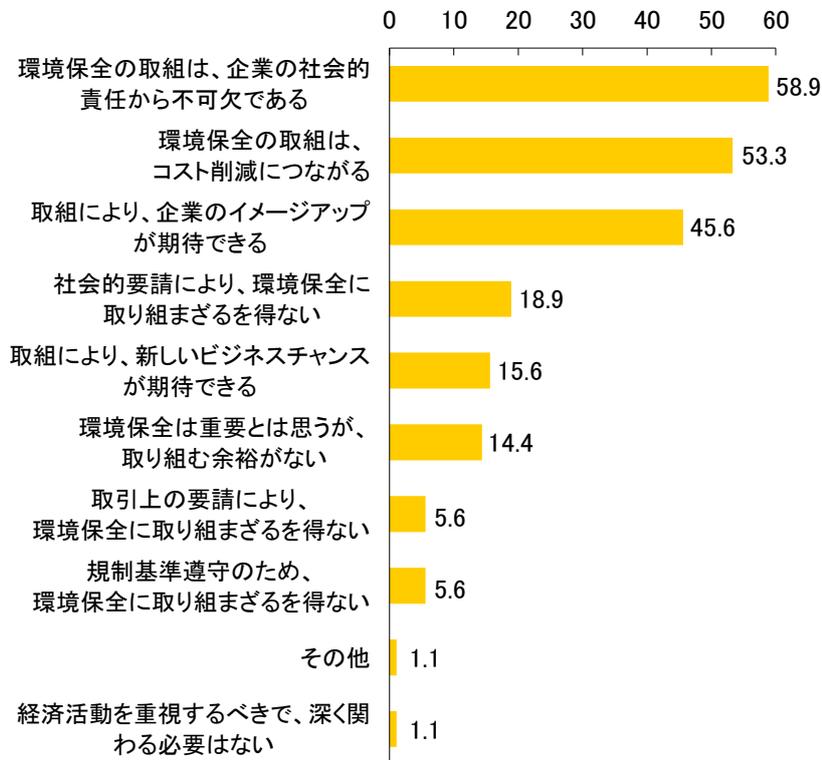


図 25 環境保全等の取組への考え

Q8 Q5であげたような環境保全の取組を推進する場合、貴事業所にとって課題などがありますか。

- ・環境保全の取組を推進する場合の課題として、高いものから「環境保全の取組は手間、時間、労力がかかる」50.0%、「環境保全の取組はコストがかかる」46.7%となっている。

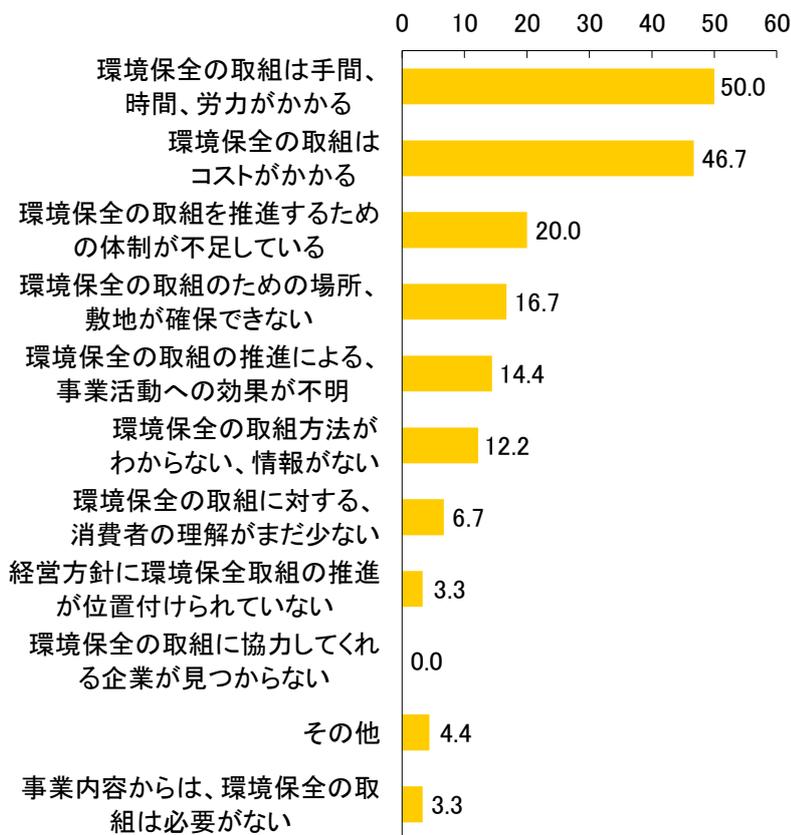


図 26 環境保全等の取組推進の課題

Q9 地域社会の一員として事業者の役割は、ますます期待が高まっています。貴事業所では地域の環境保全に向けた取組にどのように関わっていますか。

- ・地域の環境保全に向けた取組については、「特に行っていない」が 51.1%と 5 割を超えている。
- ・地域の環境保全に向けた取組については、高いものから「事業所周辺や地域の清掃活動を行っている」32.2%、「社員や市民に対して環境に関する啓発活動を行っている」16.7%となっている。

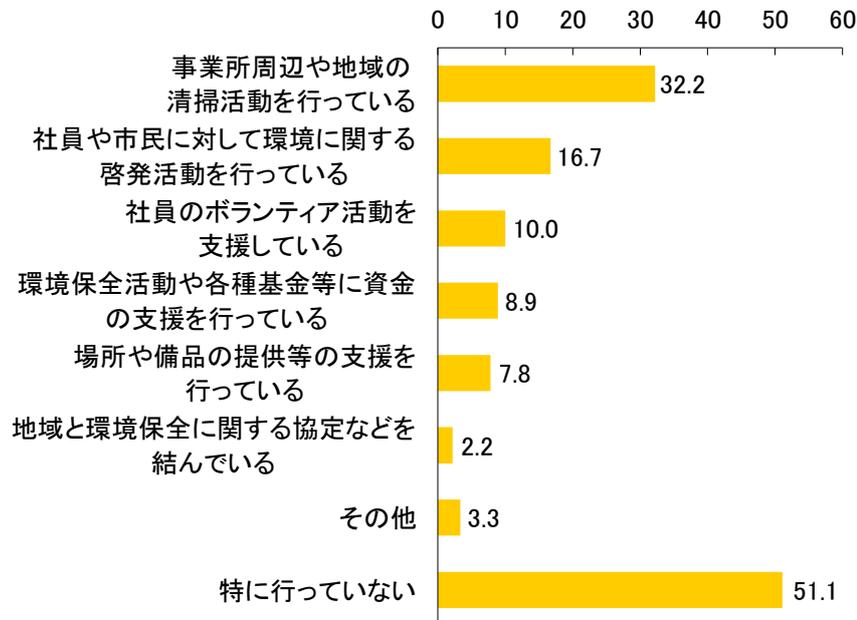


図 27 地域の環境保全等の取組への関わり

その他の回答としては以下のような回答があった。

- ・エコキャップ運動
- ・環境カウンセラーズ京都メンバーとしての活動
- ・京都商工会議所を通じた取組への参加

Q10 事業所では、環境についての情報や知識を、どこで知ったり学習したりしていますか。また、環境についての情報や知識をより多くの方に知ってもらうために、どのような場所、どのような手段を用いたらよいと思いますか。

- ・環境について情報や知識を得るために利用する情報源として、高いものから「新聞や雑誌」51.1%、「市民しんぶん」などの市の広報や案内」44.4%、「インターネットや携帯電話のサイト」42.2%となっている。
- ・多くの人へ発信するために有効な情報源として、最も高いのは「インターネットや携帯電話のサイト」60.0%、次いで「新聞や雑誌」53.3%、「テレビやラジオ」53.3%となっている。

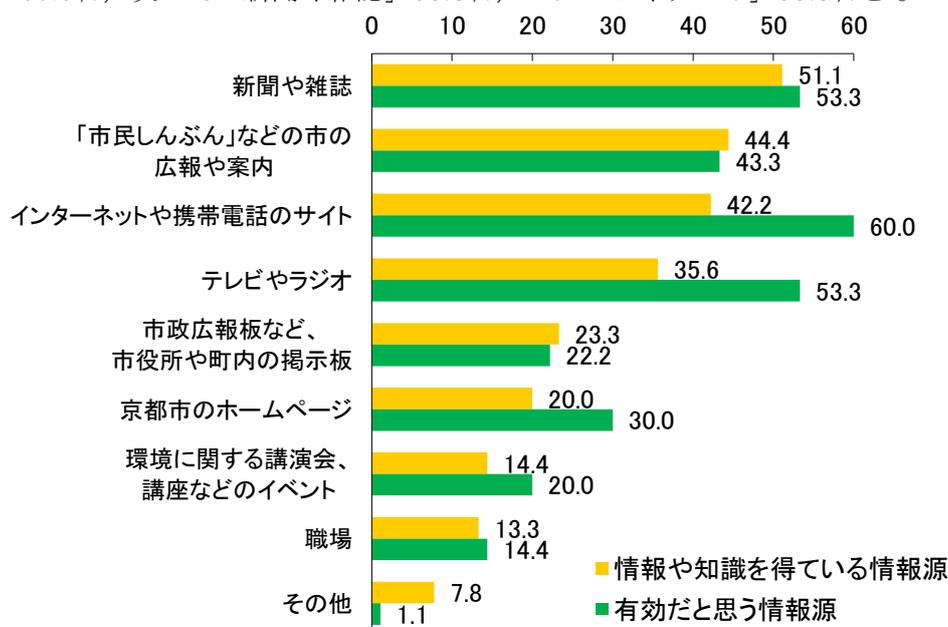


図 28 環境についての情報や知識

情報や知識を得ている情報源、有効だと思う情報源のその他の回答としては以下のような回答があった。

表 6 情報や知識を得ている情報源、有効だと思う情報源のその他の回答

情報や知識を得ている情報源	有効だと思う情報源
<ul style="list-style-type: none"> ・取引業者など ・業界の情報誌 ・eco 検定の受験 	<ul style="list-style-type: none"> ・業界の組合や加盟団体からの案内

Q11 事業所は、環境の保全に向けて、今後、行政はどのような取組を重点的に進めるべきだと思いますか。

- ・環境保全について行政が重点的に進めるべき項目として、最も高いのは「エコカーの購入などを行う際、経済的な支援を行う」54.4%、次いで「HPや広報などを活用した情報発信を充実させる」48.9%、「環境への負荷が低い商品の製造・販売を支援する」31.1%となっている。

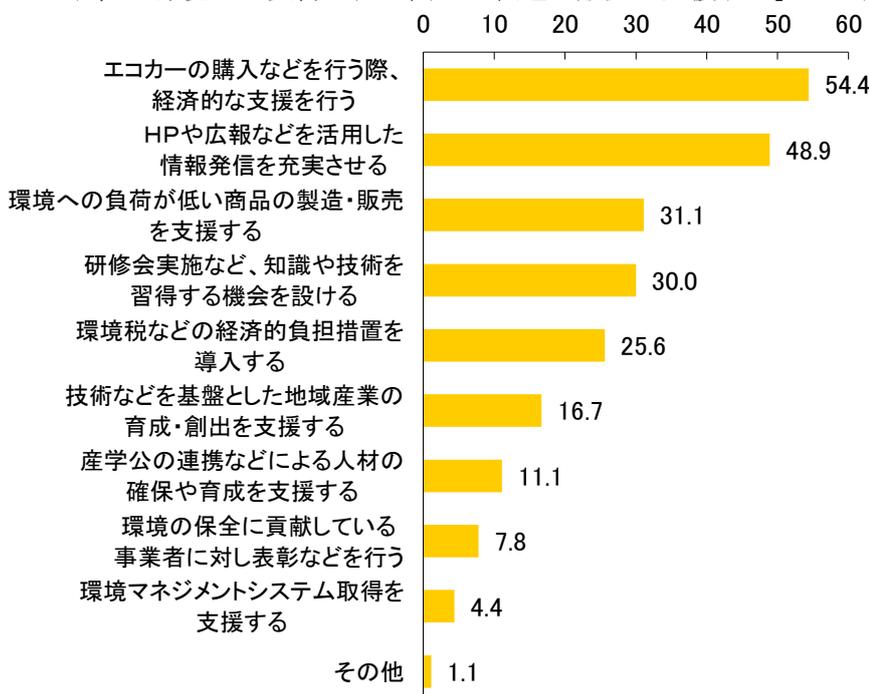


図 29 環境保全のために行政が推進する重要な取組

Q12 環境問題や行政が取り組む環境保全施策についてご意見、ご希望などございましたら、ご自由にご記入ください。

以下のような回答があった。

- ・助成金制度等の利用枠を広げてほしい。
- ・人材の育成，幼い頃からの教育。
- ・省エネ商品の推薦。
- ・定期的な環境保全に対する情報の提示。
- ・取り組みやすいものをもっとアピールしてほしい。
- ・自家用車の市内乗り入れ規制。
- ・タクシー，バスのハイブリッド化，ミニバスの導入。
- ・ゴミ袋等のお金がかかりすぎていて，不法投棄や分別が進まないのではないかな。
- ・広報，啓発活動に力を入れてほしい。
- ・現在の経済状況ではできないことが多すぎる。
- ・画一的な政策よりも，もっと地域の特性にあった政策の実施してほしい。
- ・地域住民よりも観光客等が多い場所では，その地域に適した環境対策を実施すべきではないかな。

